

(1) 平成29年度事業報告

1 小型船舶の交通安全に関する教育（公益1）

○海上安全講習会

(1) 海上安全講習会

各地区の小型船安全協会会員を主としたプレジャーボート等の小型船のオーナー・ユーザー等の関係者及び水上バイクの会員を対象に安全講習会を次のとおり開催した。今年度は、「小型船の安全運航について」、「ライフジャケット等の遵守事項について」の講習を実施した。

(日本財団助成含む)

担当小型船安全協会	回数	参加人員
関門地区	2	70
宇部地区	3	130
洞海地区	1	55
芦屋地区	1	30
福岡地区	6	150
有明海地区	3	83
唐津玄海地区	2	70
伊万里湾地区	1	70
長崎地区	5	216
佐世保地区	2	35
平戸地区	4	44
対馬地区	1	32
大分地区	1	30
臼杵地区	1	60
津久見地区	3	65
佐伯地区	1	66
長門地区	2	32
萩地区	2	79
ひびき灘地区	1	40
合計	42回	1,357人

(日本財団助成事業地区 津久見地区、臼杵地区、芦屋地区、佐世保地区、有明海地区、伊万里湾地区、関門地区)

(2) 実技講習会（日本財団助成）

今年度は、福岡地区の会員及びその周辺のプレジャーボート等の小型船のオーナー、ユーザーを対象に開催した。

座学講習では、フルノ電気九州販売株式会社様を講師に招き「AIS（自動船舶識別装置）」の説明、七管本部から「漂泊錨泊中の衝突事故について」の講習、福岡海上保安部から「プレジャーボートの海難防止について」の講習を行った。

実技講習としては、福岡マリーナ前海域に於いて、ミニボート等の耐波性に関する実証実験を実施した。

担当小型船安全協会	開催日	開催地	参加人員
福岡地区	平成29年6月24日	北九州市	53人

(3) 安全講習会受講旗配布（日本財団助成）

当協会会員が積極的に安全講習会に参加することで、同会員をはじめ海洋レクリエーションの用に供する小型船舶の関係者の海難を防止するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で秩序あるマリンレジャーの普及と発展に寄与することを目的として安全講習会受講旗18ヶ所1,185枚配布した。

29年度より、船舶を持たない会員及び水上バイクの会員に安全講習会受講証を芦屋地区・伊万里湾地区・関門地区・佐世保地区の4ヶ所33枚配布した。

(29年度赤色)

(4) 地元小学生等に対する海上安全教室への参画（日本財団助成）

29年度新規事業として3ヶ所で実施した。

- ①実施日 平成29年7月10日（月）
 - ②場所 下関市立吉見小学校 体育館
 - ③講師及び参加者 門司海上保安部 航行安全課、関門地区小型船安全協会 海上安全指導員、吉見小学校3年生対象
 - ④実施内容 「海の安全教室 水辺で遊ぶ際の注意事項」
 - ・吉見地区の危ない場所
 - ・身近な物を使った救助方法
 - ・ペットボトルを使った救助体験
 - ・救命胴衣の体験
-
- ①実施日 平成29年7月23日（日）
 - ②場所 大分市田ノ浦海浜公園「うつくし海岸づくりフェスタ」
 - ③参加者 大分海上保安部 交通課・警備救難課、大分地区小型船安全協会海上安全指導員
 - ④実施内容 「ワークショップ」

- ・応急用救命代用具浮くっちゃボトル作り体験
- ・海の安全教室 陸からの救助方法及び身近な物を使用した浮き身法体験

- ①実施日 平成29年7月24日(月)
- ②場所 北九州州市立藍島小学校
- ③講師及び参加者 若松海上保安部航行安全課・警備救難課、洞海地区小型船安全協会海上安全指導員、藍島小学校全校生徒
- ④実施内容 「水上安全法及び海中転落者に対する対処方法」
- ・プールでの着衣水泳体験
 - ・身近な物を使った救助方法
 - ・ペットボトルを使った救助体験

○広報活動(公益1)

(1) ポスターの作成(日本財団助成)

安全運航を啓蒙するため「目指そう!海の事故ゼロ あなたは守っていますか」発航前点検、ライフジャケットの着用、見張りの徹底を訴えるポスターを作成し掲示依頼を行った。

- イ 規格・作成部数 B版 カラー 90部
- ロ 掲示依頼先 各小型船安全協会及びその関係先

(2) マリンセーフティブックの作成(日本財団助成)

主として海上安全指導員が、陸上から訪船する現場指導やパトロール艇による海上パトロールの際に、相手に手渡す指導啓蒙用及び会員募集用のマリンセーフティブックを作成し配布した。

今年度は、「出航前チェック表及び航海記録表」の他に「海の安全情報」「ライフジャケットに関する遵守事項」を加え作成配布した。

- イ 規格作成部数 21cm×14.8cm版 34ページカラー 2,000部
「もっと楽しく安全に」広げよう!安全活動の輪!
- ロ 配布先 ① 小型船安全協会会員及びその他のプレジャーボート等小型船のオーナー・ユーザー
- ② マリーナ・釣具店等

(3) 海浜パトロール・地域交流活動イベント用のぼり旗作成 (日本財団助成)

- イ 規格 のぼり旗 600mm×1800mm 30枚
テトロポンジ 上下ヒートカット
3mポール (白) 30本 注水台 30台
- ロ 配布先 各小型船安全協会

(4) パンフレットの作成

「小型船舶の船長さんへ」と題し、パンフレットを作成した。

第七管区海上保安本部、公益社団法人西部海難防止協会と共同作成。

「ライフジャケットの遵守事項」、「守ろう！自船の安全確保3か条！」

2 小型船舶に対する安全パトロール (公益1)

(1) 海上安全指導員連絡調整会議 (日本財団助成)

各地区の小型船安全協会に所属する海上安全指導員の代表及び水上バイクの海上安全指導員を招集し連絡調整会議を開催した。

開催日 平成29年11月20日 (月)

開催地 北九州市門司区西海岸 門司港湾合同庁舎 7階会議室

参加人員 31名

- イ 各地区指導員より活動報告
- ロ 水上バイクの活動について
- ハ 活動における問題点とその対策
- ニ 第七管区海上保安本部より、救命胴衣等遵守事項違反についての説明

(2) 海上安全パトロール・海浜パトロール (日本財団助成含む)

海上安全指導員に、主として日祝日等のマリレジャーの活発な海域での安全パトロール艇によるパトロールと訪船指導を依頼し、プレジャーボート等の小型船に対し救命胴衣の常時着用、航海計画の内容、船体・機関・装備品の整備状況、気象の把握等に関して次のとおり指導した。

また、今年度はマリレジャーが盛んな時期において、海水浴場周辺に出動し、海水浴場等来場者の安全を確保し、砂浜付近まだ進出可能な水上バイクの会員と連携し、安全指導を実施した。

担当小安協	現場指導人数	現場指導隻数
関門地区	307	224
みやこ地区	254	187
宇部地区	802	527

洞海地区	619	190
ひびき灘地区	240	160
芦屋地区	158	114
福岡地区	962	569
有明海地区	257	222
唐津玄海地区	252	183
伊万里湾地区	535	258
長崎地区	2,346	1,572
佐世保地区	446	361
平戸地区	724	438
対馬地区	191	154
豊前海地区	187	147
大分地区	405	225
臼杵地区	421	284
津久見地区	173	155
佐伯地区	134	97
長門地区	64	54
萩地区	272	203
合計	9,749人	6,324隻

3 小型船舶の安全思想の普及及び宣伝（公益2）

○安全教室、海上イベントへの協力等

（1）関門港ボート天国（日本財団助成）

実施日：平成29年7月16日（日）

実施場所：北九州市関門港レトロ地区と関門港門司区第1船だまり及びその付近の海域

プレジャーボートの安全運航とマリナーに対する健全な普及と安全思想の啓発を図るため、関門港で開催されたボート天国に参画し、会場・水辺警備を担当したほか、一般市民210名を海上安全指導員とともにモーターボートへ試乗させる行事を実施した。

（2）ちびっ子カーニバル2017（日本財団助成）

実施日：平成29年8月20日（日）

実施場所：芦屋競艇場

芦屋競艇場において、小中学生及び保護者の海に対する基本知識や安全意識の向上

を図るため実施した。親子安全教室では、訓練用人形及びAEDトレーナーを使用して、心肺蘇生法の流れを指導した。応急用救命代用具「浮くっちゃボトル」の作り方を指導した。

また、例年恒例である、水上オートバイの体験試乗も実施し、60名の参加者であった。

(3) 博多湾体験航海（一般市民を対象）（日本財団助成）

実施日 : 平成29年7月16日（日）、17日（月）

場所 : 福岡博多湾内

参加人員 : 一般市民（親子）40名

海洋レジャーの健全な発展と一般市民との緊密な協調により、地域社会の発展に寄与することを目的に実施した。福岡地区小型船安全協会所属艇4隻を午前と午後の2回に分けて延べ8隻で湾内を巡航した。

(4) 園児海洋体験学習及び老人介護施設訪問活動（日本財団助成）

① 老人介護施設訪問活動

実施日 : 平成29年8月29日（木）

実施場所 : 宇部沖一帯～老人介護施設（宇部市経費老人ホーム好生園）

参加人員 : 会員5名、5隻

慰問持参品 : アジ 110尾

② 園児海洋体験学習

雨天のため、中止となった。

(5) 安全啓発グッズの作成配布（日本財団助成）

① ウエットティッシュ（10枚入り）3年保証 1000個

配布先 : イベント、海上安全パトロール

832個配布した。

② A4クリアファイル 片面フルカラー印刷 1000枚

配布先 : イベント、海上安全教室、安全講習会受講者等

908枚配布した。

(6) 2017九州ボートショー in 福岡

開催日 : 平成29年4月22日（土）、23日（日）

場所 : 福岡市ヨットハーバー特設会場

来場者 : 約2,200名

第七管区海上保安本部安全対策課、福岡海上保安部、福岡地区小型船安全協会海上安全指導員の協力のもとセミナーを実施した。

セミナー : 知って安全、楽しい愉快地にボートライフ講座

～海難を未然に防ぐ必須知識～

(7) 西部ふれあい祭り

開催日 : 平成29年5月20日(土)

場所 : 山陽小野田市竜王山公園 オートキャンプ場

賛助会員でもある西部石油株式会社主催、宇部海上保安署の協力もと、啓蒙グッズの配布、協会パンフレット等を配布し活動等を幅広く周知した。

4 小型船舶の交通安全に関する調査及び研究(公益1)

○調査研究受託事業

1. 小型船舶の海難を防止するための小型船舶の通信等に係る実態調査

小型船舶の海難を防止するため、スマートフォン・携帯電話による緊急情報発信網整備の基礎資料とするため、小型船舶の通信手段等についてアンケート調査を実施。九州北部海域(福岡県、佐賀県、長崎県及び大分県)及び山口県西部海域における在泊するプレジャーボートの所有者または使用者のうち、小型船舶の免許を更新した約7,900名を対象に行い、有効回答数は4,041回答であり、回答率は51%であった。報告書及びCDを納品した。

委託者 : 公益社団法人 西部海難防止協会

調査期間 : 自 : 平成29年6月20日

至 : 平成29年3月23日

対象者 : 会員及び免許更新講習者

5 小型船による災害支援活動(公益1)

○人命救助訓練

(1) 訓練

イ 各地区小型船安全協会において、海上保安部署のもとで次のとおり人命救助訓練を実施した。

担当小安協	実施回数	参加人員	参加隻数
関門地区	1	25	2
みやこ地区	1	7	3
芦屋地区	1	10	2

宇部地区	1	32	1
有明海地区	1	19	
長崎地区	1	43	4
対馬地区	1	16	
平戸地区	1	58	5
伊万里湾地区	1	20	3
唐津玄海地区	1	5	1
津久見地区	1	20	2
萩地区	1	35	3
合計	12回	290人	26隻

(2) 救命胴衣等の貸与

新規の海上安全指導員に対し、指導時の安全確保と着用指導員として救命胴衣10着購入し、救命胴衣9着、マリンハット8個貸与した。

6 その他本協会の目的を達成するため必要な事業

○その他の事業

(1) 関係会議への出席

平成29年6月	「平成29年度西日本海難防止強調運動推進連絡会議」	西日本海難防止強調運動推進連絡会議
7月	「下関港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査委員会」	(公社)西部海難防止協会
9月	「下関港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会」(第2回)	(公社)西部海難防止協会
11月	「関門航路早瀬瀬戸付近海域における船舶航行安全調査研究委員会」 「全国海難防止団体等連絡調整会議」 「関門航路整備に伴う航行安全対策調査専門委員会」	(公社)西部海難防止協会 (公社)日本海難防止協会 (公社)西部海難防止協会
12月	「第19回西海防セミナー」 「下関港大型船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会」(第3回)	(公社)西部海難防止協会
平成30年1月	「関門航路早瀬瀬戸付近海域における船舶航行安全調査研究委員会」	(公社)西部海難防止協会

	「荻田港本航路暫定供用に伴う航行安全対策調査 専門委員会」	
2月	「ひびきCT大型客船夜間入出港に伴う航行安全 対策調査専門委員会」 「関門航路整備に伴う航行安全対策調査専門委員 会」(第2回) 「荻田港本航路暫定供用に伴う航行安全対策調査 専門委員会」	(公社)西部海難防止協会
3月	「第20回西海防セミナー」 「関門航路早鞆瀬戸付近海域における船舶航行安 全調査委員会」(第2回) 「荻田港(南港航路)整備に伴う航行安全対策調 査専門委員会」 「下関港大型客船夜間入出港に伴う航行安全対策 調査検討部会」 「北九州(ひびきCT)大型客船夜間入出港に伴 う航行安全対策調査専門委員会」	(公社)西部海難防止協会

○物品販売事業(収益)

(1) 協会旗頒布

当協会会員の団結と意識の向上を促し、対外的に本会の活動をアピールすることを
目的として125枚を有料にて頒布した。